

政策番号	9	政策分野	観光
------	---	------	----

基本方針	京都観光の「質の向上」にこれまで以上にこだわり、感動の先にある「あこがれ」や「尊敬」を持っていただける「世界があこがれる観光都市」を実現するため、「人づくり、まちづくり」，「魅力の向上，誘致手法」，「魅力の発信，コミュニケーション」，「MICE戦略」を柱とした取組を推進する。 また，京都の都市特性を生かした世界に冠たる国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍を目指す。
------	--

担当局	産業観光局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都観光振興計画2020，京都観光振興計画2020+1，京都市MICE戦略2020
---------------------	---

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成30	令和元	令和2年度評価				
						前回事	最新値	目標値	達成度	評価
1	観光消費額(億円)	12,367	13,000	-	-	—	12,367	12,143	101.8%	a
2	外国人宿泊客数(万人)	380	300	-	-	—	380	273	139.2%	a
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
0901	観光スタイルの質の向上(4指標)	a	a	a
0902	観光都市としての質の向上(4指標)	b	b	a
0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍(3指標)	c	b	a
(3施策平均)		b	a	a

政策の客観指標総合評価		平成30	令和元	令和2
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)		a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	じっくり滞在し，ほんものとふれあい，歩いて楽しむ観光客が増えている。	b	b	-
2	京都は，観光客にとって質の高い観光都市である。	a	a	-
3	京都市民は，四季折々の京都観光を楽しんでいる。	b	b	-
4	京都は，市民にとってくらしやすい観光都市である。	c	c	-
5	京都市民は，観光客を温かく迎えるなど，京都観光の振興に協力的である。	b	b	-
6	子ども連れの家族や若者，ビジネス客など，新たな京都ファンが増えている。	b	b	-
7	京都は，国際会議などが盛んに開かれるMICE(企業のミーティング，企業研修旅行，国際会議，イベントなどの総称)都市になってきている。	b	b	-
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	-

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
25	73.6%	27	65.5%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	政策の目的がかなり達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

<原因分析>

【客観指標総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

【総括】

・観光消費額が令和元年度に達成すべき目標値を達成する等、客観指標は前年度に続きa評価となった。また、市民生活実感評価は、「京都は、観光客にとって質の高い観光都市である」等がa評価で推移しており、これらのことから、総合的に勘案し、政策の目標がかなり達成されていると評価できる。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
0901	観光スタイルの質の向上	B	B	B
0902	観光都市としての質の向上	B	B	B
0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍	B	B	B

<今後の方向性>

①観光スタイルの質の向上

・観光地の魅力を掘り起し、丁寧な発信を行うとともに、宿泊観光の推進等による滞在期間の長期化、市内周辺地域への観光客の分散化による満足度の向上、人と公共交通を優先する歩いて楽しいまちづくりを進める。

②観光都市としての質の向上

・世界中の人に京都に行きたいという「あこがれ」を持っていただくよう、観光客の受入環境整備や観光事業者への支援、文化を基軸とした取組の推進、民泊適正化等、観光客を魅了する安心・安全でやさしさあふれるまちづくりを進めていく。また、「市民生活と調和した持続可能な観光都市」推進プロジェクトチームでの検討を踏まえ、市民生活の豊かさの向上を図る取組を拡充していく。
・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、「ウィズコロナ社会における市民と観光客の安心・安全の確保に向けたアドバイザーチーム」や次期観光振興計画策定に向けた議論の中で、ウィズコロナ社会における持続可能な京都観光について検討を進めていく。

③国際MICE都市への飛躍

・「京都市MICE戦略2020」に基づき、京都文化交流コンベンションビューローと連携のうえ、京都の多様な魅力を活用しながら、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化、伝統産業製品の貸出制度など、主催者が京都を選択しやすい環境を整えることで、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。
・「京都市MICE戦略2020」は令和2年度に最終年度を迎え、新たな戦略は次期観光振興計画の中で定めることから、計画策定に向けた検討を進める。

政策名	9	観光					
指標名	観光消費額（億円）						
担当部屋	観光MICE推進室	連絡先	7 4 6－2 2 5 5				
1 指標の説明							
観光に関する京都の観光消費額							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
京都観光が目指す、「世界があこがれる観光都市」に向けた進み具合を示す指標		出典：京都観光総合調査					
4 数値							
10年後(令和2年度)の目標値	令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	12,367	13,000	京都観光振興計画2020+1				
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	—	12,367	—	12,143	令和2年度目標値を達成するために本年度達成すべき数値	101.8%	
	全国順位	中長期目標			備考	令和元年度の京都観光総合調査から集計方法を変更している。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	—	13,000	令和2年度	95.1%			京都観光振興計画2020+1
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2	
				-	-	a	

指標名	外国人宿泊客数（万人）						
担当部屋	観光MICE推進室	連絡先	7 4 6－2 2 5 5				
1 指標の説明							
京都で宿泊される外国人観光客数							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
京都観光が目指す、「世界があこがれる観光都市」に向けた進み具合を示す指標		出典：京都観光総合調査					
4 数値							
10年後(令和2年度)の目標値	令和元年度評価値	令和2年度目標値	根拠				
	380	300	京都観光振興計画2020				
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	—	380	—	273	令和2年度目標値を達成するために本年度達成すべき数値	139.2%	
	全国順位	中長期目標			備考	令和元年度の京都観光総合調査から集計方法を変更している。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	—	300	令和2年度	126.7%			京都観光振興計画2020
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	令和2	
				-	-	a	